

ま つ だ い

地域探究・キャリア教育講演会



【講演会の様子】

10月23日(水)、昨年に引き続き、炭焼き職人の原伸介さんを講師にお招きし、地域探究・キャリア教育講演会を実施しました。原様からは、「人生は楽しい！～

君たちの可能性は無限大～」と題して、「伝える側で一番大切なことは聴く力」、「技術は最高の貯金であり、使えば使うほど磨かれる」、「努力は好きに勝てない」など、これまでご自身の様々な経験や沢山の人の出会いから学んだことなどについて講演をいただきました。生徒一人一人に原様の思いが刻まれるとても貴重な機会となりました。

人権教育・同和教育講演会・学年授業



【講演会の様子】

本校では、10月から11月に3週連続で人権教育・同和教育に取り組んでいます。今年度は、10月31日(木)に翌週に予定して

いる講演会に向けた事前学習として、人権と部落差別についての基本的な学習を行いました。11月7日(木)には、講師をお招きし、ご自身のこれまでの体験をもとにご講演をいただき、差別の実態について学ぶとともに、差別を自分事として考えるととても貴重な機会となりました。この講演会の翌週13日(水)には、事後学習として、1年生は「さまざまな差別について」、2年生は「就職差別について」、3年生は「結婚差別について」

をテーマに、これまでの学習をふまえながら、様々な人権問題についての知識や理解を深めました。

1年生：「薬物乱用防止教育」を実施



【講演会の様子】

11月26日(火)、新潟県警察本部生活安全部少年課長岡岡少年サポートセンターから廣野くるみ様を講師としてお招きし、1年生を対象に

「薬物乱用防止教育」を実施しました。廣野様からは、冒頭、「クスリを逆さまにするとリスクになる。クスリはリスクを伴うものであり、決して楽しむものではない。正しい知識を身につけて、自分を守って欲しい。」とお話しになった後、薬物乱用による人体への影響として「依存性」・「耐性」・「フラッシュバック」・「急性中毒」などにより、最悪の場合、死に至るケースもあることについて映像を交えながら医療目的にない薬物を不正に使用することの恐ろしさについて講話をいただきました。

生徒からは、「薬物が身近に存在することを知り、怖いと思った」、「見た目では、薬物とは分からないものが多く、気を付けたい」「友達が薬物に手を出しそうになったら、止められるようにしたい」などの感想があり、生徒一人一人が、他人事としてではなく、自分事として捉える機会となるとともに、薬物の恐ろしさを知り、正しい知識を身につける貴重な機会となりました。

「ダメ。ゼッタイ。」

1年生：「話の伝え方講座」を実施



11月28日(木)、(株)エフエムとおかまち取締役放送局長 松山恭平様(本校OB)、パーソナリティー高野綾子様のお二人を

【「声」の説明を受ける様子】 お迎えし、1年生対象の「話の伝え方講座」を実施しました。この講座は、探究活動の一環として行っている様々な場での発表をふまえ、話の伝え方を学ぶことを目的に実施しました。前半は、高野様から話をするには「声のパワー」、「メリハリ」、「発音」の三つが大事であり、トレーニングすることで相手への伝わり方が変わるということについて説明をいただきました。また、後半では、松山様から相手に伝えるための発表スライドの作り方について説明をいただきました。生徒からは、「声を少し変えるだけで伝わり方が違ってくることが分かった」など、相手に説明するときなどに必要な新たな視点を学ぶことができました。

本校教員による「生徒指導研修」を実施



【研修会の様子】

本校では、教員の生徒指導に係る対応力の向上を目的に生徒指導研修を年3回実施しています。今回は、9月18日(水)に本校の管理職及び各主任・主事が参加した「令和6年度いじめ対策総点検」におけるグループワーク(いじめ事案対応シミュレーション)に基づき研修を行いました。

当日は、生徒指導主事の中村教諭が全体の進行を務め、各学年主任が学年別に分かれたそれぞれのグループのファシリテーターとして、各場面において必要な視点や対応について協議を行いました。協議の後、各学年で話し合われた内容について発表するとともに情報共有を行い職員の対応力の向上に努めました。

当日は、生徒指導主事の中村教諭が全体の進行を務め、各学年主任が学年別に分かれたそれぞれのグループのファシリテーターとして、各場面において必要な視点や対応について協議を行いました。協議の後、各学年で話し合われた内容について発表するとともに情報共有を行い職員の対応力の向上に努めました。

年明けの1月7日(火)に第3回校内生徒指導研修として、昨今の若者によるSNS利用状況と特殊詐欺の実態について研修を行う計画です。

大地の芸術祭

越後妻有アートトリエンナーレ 2024

7月13日から開催されていた、大地の芸術祭が、11月10日に閉幕しました。本校生徒も地域探究の一環として、数々の作品に触れ、改めて地域の魅力を知る機会となりました。

学校日より10月号、11月号に続き、松代エリアの一部作品を紹介します。



作品名

「関係 - 黒板の教室」
(教育空間)

作家

河口龍夫(日本)



作品名

「フィヒテ(唐檜)」

作家

トビアス・レーベルガー(独)



作品名

「木湯」

作家

鞍掛純一 + 日本大学芸術学部彫刻コース有志(日本)



作品名

「空知らぬ雪」

作家

栞田ちひろ+有理(日本)

(写真撮影：校長)

【HP】<http://www.matsudai-h.nein.ed.jp/>

学校の情報、緊急連絡等を掲載しています。

【note】<https://matsudai-hs.note.jp/>

日常の学校生活を紹介しています。



〈ホームページ〉



〈note〉